

特集

国際交流事業

姉妹都市締結45周年

蕪崎とフェアフィールドの絆

市では、世界で活躍できる人材を育成するほか、異文化に触れることで文化の違いを自らの肌で感じ、自国の文化を再認識するため国際交流事業を始め、アメリカ合衆国のフェアフィールド市と姉妹都市を締結し、今年で45周年を迎えました。毎年7月に約3週間、フェアフィールド市の高校生が市内の一般家庭にホームステイし、12月下旬から約3週間の日程で、市内中学・高校生がフェアフィールド市内の一般家庭にホームステイする事業を行っています。滞在中は、それぞれ市内の学校を訪問するほか、地元企業を視察研修し、異文化交流・相互理解を深めています。また、5年ごとを節目として、相互に市長をはじめとした親善使節団の派遣受入をしています。

姉妹都市締結の経緯

かねてより、国際親善を通じた文化・経済の交流を深め、広い視野に立った行政を執行したいという第3代市長横内要氏の考えにより、1972年の沖縄返還を目前に控えた1971年10月28日を契機として、蕪崎市においても広く世界に目を向け、世界の恒久的な平和と友好に一役果たしたいとの思いから、アメリカ合衆国カリフォルニア州・フェアフィールド市との間で、姉妹都市締結の調印を行いました。

フェアフィールド市を選んだ理由

1968年ごろから、サンフランシスコ在住の山梨県友会の長田孝、竹下栄光、小野

祐良氏等を通じ、姉妹都市としての候補市選考を依頼していたところ、長田氏の御子息の斡旋によりフェアフィールド市が紹介されました。先に1971年の2月4日、フェアフィールド市議会において議決がなされ、その後、本市において関係資料等を検討した結果、都市規模が類似しているなどの理由から、1971年3月25日、議会の議決を経て、正式にフェアフィールド市との間での姉妹都市締結が現実となりました。



フェアフィールド市の風景



フェアフィールド市ってどんなところ？

カリフォルニア州ソラノ郡フェアフィールド市が正式の名称で、サンフランシスコ市北東 75km、サクラメント西 80kmに位置し、サンフランシスコへの通勤住宅地として発展しています。

夏の暑いときで 30 度、冬の寒いときでも 4 度と、温暖な気候に恵まれた都市であり、5 月から 10 月ごろまでは雨が降らず、11 月から 4 月ごろにかけて少量の雨がある程度で、降水量は年間 300 ミリから 350 ミリ位です。

面積 75km²、人口約 105,000 人で、見渡す限り平坦で、ところどころ小丘陵があります。郡の首都であることから、郡役所・裁判所等をはじめ、教育・公共施設ともよく整備されています。

市内には米軍の輸送機の発着拠点となっているトラビス空軍基地があるほか、ジェリーベリーの製造するジェリーベリー・キャンディ社、またカルビー・ノースアメリカの工場など、大規模な工業施設も点在しています。

産業の主体は果樹園で、ブドウ・モモ・ナシ・ボタンキョウ等が大量に栽培されており、果樹園の栽培ではカリフォルニア州で最も古い歴史があり、カルフォルニアワインの産地としても知られています。



写真で振り返る 45 年史



姉妹都市締結フェアフィールド市を訪問
(1971 年 10 月)



フェアフィールド市より贈られた友好の水鳥像の除幕式 (1988 年 6 月)



学生派遣を始めたキエコさんとエルバート・ウィタカーご夫妻が 40 周年の際に本市を訪れました。30 周年記念で中央公園に建てられた記念碑の前で記念撮影 (2012 年 10 月)



姉妹都市締結 25 周年で武田軍団出陣パレードに参加
(1996 年 7 月)



姉妹都市締結 45 周年で「姉妹都市友好の橋」の命名式典 (2016 年 5 月)

フェアフィールド市から親善使節団が来菲

45 周年記念事業として、市制施行 62 周年記念式典にあわせ、フェアフィールド市から親善使節団が本市を訪問します。下記の日程を予定しておりますので、お見かけした方は、温かくお声掛けください。

10 月 7 日 (金)	菲崎市到着	10 月 9 日 (日)	市制施行 62 周年記念式典出席
	ホストファミリー宅へ		菲地下オープニングセレモニー出席
10 月 8 日 (土)	菲崎市市内にて日本文化体験・見学		「武田の里フェスタ・菲崎」出席
	ウェルカムパーティー	10 月 10 日 (月)	英語劇観賞
			県内観光
		10 月 11 日 (火)	フェアウェルパーティー
			アメリカへ帰国

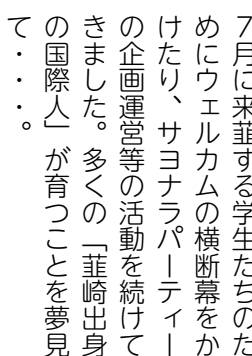
姉妹都市交流の関係者から

両市において、姉妹都市交流にご協力いただいている市民団体の会長を務められているお 2 人に 45 周年記念にあたり、メッセージをいただきました。



フェアフィールド・菲崎姉妹都市委員会会長
アーレッタ・コートライトさん

姉妹都市委員会会長として、菲崎市との 45 年にわたる友好関係を大変誇りに思っています。この姉妹都市事業は私にとって人生を変えるような経験です。2003 年に初めて菲崎市からの派遣学生の受け入れをし、その後何年にもわたりお客さんを受け入れました。夫、娘、私は 2005 年の派遣学生団として菲崎市に 3 週間滞在し、それから毎年のように来ています。日本には素晴らしい友達がいり、私の人生に楽しみをもたらしてくれました。この事業なしで、私の人生は考えられません！毎度、私たちを友好的に、また親切に歓迎してくれる菲崎市民の皆さんに感謝しています。この事業とともに、さらに時が過ぎますことを楽しみにしています。



菲崎・フェアフィールド交流協会会長
廣島 民雄 さん

このように長く順調に姉妹都市事業を続けてこられたのは、フェアフィールド市在住のキエコさんとエルバート・ウィタカーさん夫妻の献身的なお世話があったからにほかなりません。15 年前、私たちはご夫婦がお元気なうちに、なんとか顕彰できないかと考え、フェアフィールドや国際交流に関係した団体を中心に皆様のご協力のもと、ご夫妻の碑を建立すると同時に菲崎・フェアフィールド交流協会を設立いたしました。爾来、7 月に来菲する学生たちのためにウェルカムの横断幕をかけたリ、サヨナラパーティーの企画運営等の活動が続けられました。多くの「菲崎出身の国際人」が育つことを夢見て……



菲崎・フェアフィールド交流協会会長
廣島 民雄 さん

世界と向き合う第一歩

本市の国際交流事業は姉妹都市交流だけでなく、昭和 59 年に中国の佳木斯（ちゃむす）市と友好都市となり、農業研修生や教員などの技術訓練受入を行ってきました。民間交流支援としては、チェコ共和国メヘニツエ市と穂坂町の子どもたちのサッカー交流や、ニュージーランドのクイーン・シャーロット・カレッジの学生受入など、最近では交流事業も多様化しています。いずれかのかたちで、国際交流を経験した市民の皆さんもたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？

交流を通して知る、異国の文化や習慣。そして同時に気付く日本文化、習慣、また菲崎市の素晴らしさを互いに伝え合い、尊重し合える関係が今後も続きますよう、これからも市民の皆さんのご理解やご協力をよろしくお願いいたします。